

CiscoワイヤレスLANコントローラのTelnetに関するDoS脆弱性



アドバイザリーID : Cisco-SA-20130506- [CVE-2013-1235](#)
CVE-2013-1235 [1235](#)
初公開日 : 2013-05-06 19:56
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [5.0](#)
回避策 : No Workarounds available
Cisco バグ ID : [CSCug35507](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Wireless LAN Controller(WLC)ソフトウェアの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がリモートログインTelnetセッションのサービス妨害(DoS)状態を発生させる可能性があります。

この脆弱性は、正しく終了されていないリモートログインセッションの不適切なクリーンアップに起因します。この不正利用により、攻撃者は利用可能なTelnetセッションを枯渇させ、新しい管理者Telnetセッションへのサービスを拒否する可能性があります。

シスコはセキュリティ通知で脆弱性を確認していますが、ソフトウェアアップデートは提供されていません。

影響を受けるバージョンの最新のリストについては、「ベンダーの発表」セクションのバグレポートを参照してください。

シスコはCVSSスコアを通じて、機能的なエクスプロイトコードが存在することを示していますが、このコードが一般に公開されることは確認されていません。

該当製品

シスコは、次のリンクでバグID [CSCug35507](#)のセキュリティ通知をリリースしています。 [CVE-2013-1235](#)

脆弱性のある製品

このアラートが最初に発行された時点では、Cisco Wireless LAN Controllerソフトウェアバージョン7.4(1.54)以前には脆弱性が存在していました。Cisco Wireless LAN Controllerソフトウェアの新しいバージョンも影響を受ける可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

今後のアップデートやリリースについては、ベンダーに問い合わせることをお勧めします。

管理者は、信頼できるユーザだけにネットワークアクセスを許可することを推奨します。

管理者は、IPベースのアクセスコントロールリスト(ACL)を使用して、信頼できるシステムだけが該当システムにアクセスできるようにすることを検討できます。

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアの更新プログラムは利用できません。

推奨事項

`$propertyAndFields.get("recommendations")`

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20130506-CVE-2013-1235>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	適用外	Final	2013年5月6日

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。